

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部災害医療・救急医療支援講座では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名 「山間部の中核病院における患者急変の判断要因」

1. 研究の概要

2021年度より宮崎大学医学部災害医療・救急医療支援講座（以下、当講座）が設置され、小林市立病院に当講座の職員が着任しました。

小林市立病院は、宮崎県西諸医療圏の中核病院として山間部の地域医療を担っており、院内急変対応システムの一環として患者急変時の応援要請（以下、ハリーコール）を導入しています。

しかし、明確なハリーコール要請基準が設定されていないため、発見者の主観的な判断によって要請されている現状であり、潜在的に患者急変が存在している可能性が推測されます。

患者急変の判断要因を明らかにし、ハリーコール要請基準を設定することで院内急変対応システムの標準化に繋がる可能性があります。

2. 目的

この研究は、患者急変の判断に影響する要因を調査し、院内急変対応システムの改善を目的としています。

なお、この研究は救急医学分野に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から2023年2月28日まで行われます。

4. 対象者

小林市立病院に勤務する全職員が対象となります。

5. 方法

2021年5月1日から2021年9月30日までの5ヵ月間において実施した無記名アンケート調査の情報を利用させていただきます。これらの情報を統計解析し、患者急変の判断に影響する要因を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を利用しません。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する講座の研究費で賄われます。
なお、本研究の実施責任者と研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない方は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部災害医療・救急医療支援講座
実施責任者：遠藤 穰治
主任研究者：鵜澤 佑
電話：0985-85-9547
FAX：0985-85-9105